

繰り返される災害

— 少子高齢化の進む地域で生き抜くということ —

2019年4月5日(金) 13:00~17:00

日本学術会議講堂

参加無料・事前登録不要

共催：日本学術会議 地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会、土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会
後援：防災学術連携体、日本地球惑星科学連合、地理学連携機構、日本地理学会、東京地学協会

日本の少子高齢化はとどまることはない。一方で、都市への人口流入、土地利用変化によって、近年の極端気象と重ね合わされ、現代の災害はこれまでとは異なる巨大災害化している。災害は忘れた頃にやってくるというのではなく、記憶に留めている時間・空間の中で繰り返され、容赦なく少子高齢化の進む地域に襲来し、同時に、肥大化した都市部への激甚災害も懸念されている。異常気象と豪雨災害、斜面災害および震災などに関して、今後予測される災害の態様と防災の方向性を、地球・人間圏科学の視点で議論したい。

全体司会：伊藤香織（日本学術会議連携会員 東京理科大学教授）

13:00 趣旨説明

鈴木康弘（日本学術会議連携会員 名古屋大学減災連携研究センター教授）

13:10 異常気象と気候変動

中村尚（日本学術会議第三部会員 東京大学先端科学技術研究センター 教授）

13:30 少子高齢化と豪雨災害・熱波災害

寶馨（日本学術会議連携会員 京都大学大学院総合生存学館長）

13:50 激甚化する水害 —地球温暖化の脅威に挑む—

池内幸司（日本学術会議特任連携会員 東京大学大学院工学系研究科教授 / 東京大学地球観測データ統融合連携研究機構長）

14:10 斜面災害と土地利用

小嶋智（日本学術会議連携会員 岐阜大学工学部教授）

14:30 休憩（10分）

14:40 情報共有・利活用による災害対応

臼田裕一郎（防災科学技術研究所総合防災情報センター長）

15:00 雇用と暮らしを守る事業継続

西川智（日本学術会議特任連携会員 名古屋大学減災連携研究センター教授）

15:20 地震災害と防災対応

佐竹健治（日本学術会議連携会員 東京大学地震研究所教授）

15:40 大都市防災の現状と展望

廣井悠（東京大学大学院工学系研究科 准教授）

16:00 休憩（5分）

16:05 総合討論

司会：近藤昭彦（日本学術会議連携会員 千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授）

16:50 閉会の挨拶

伊藤悟（日本学術会議連携会員 金沢大学人間社会研究域教授）

17:00 閉会



[アクセス] 日本学術会議

東京都港区六本木 7-22-34

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口より徒歩1分

問い合わせ先 小嶋智（岐阜大学）

電話番号：058-293-3081